

「第7回 全国高校生介護技術コンテスト」課題

<事前課題>

魚沼^{うおぬま}トキ子さん（83歳・女性）は、変形性膝関節症のため、立ち上がりや歩行の際に膝関節痛があります。また、加齢による筋力の衰えから、立ち上がり時にふらつきがみられるため、立位には支えが必要です。歩行は歩行器を使用すれば可能ですが、長距離になると疲れや膝の痛みから、休憩が必要です。季節は秋。魚沼さんは、昼寝から起床し、ベッド脇に靴を履いて端座位で座っています。午後からの誕生会に参加するため、「今着ている上着（かぶり）を着替え、身だしなみも整えたい。」と介護者を呼んでいます。

更衣後に、居室内の洗面台まで歩行器での移動を介助し、洗面台のイスへの着座を介助してください。また、整容については、髪の毛の乱れと化粧の直しができるように道具（くし、手鏡、化粧ポーチ）の準備までを支援してください。なお、道具は床頭台の中にあります。

※利用者役の返事は、うなずく、首を振る、指をさすのみです。

※利用者役が服の下に着ている黒色のTシャツを肌とします。

健康状態 心身機能 身体状況	変形性膝関節症による両膝関節の運動痛あり。視覚・聴覚や83歳の平均的な状態。眼鏡や補聴器の使用なし。3年前に転倒し、左大腿骨頸部を骨折。入院中に体力・筋力が落ち、退院時には車いすを利用する状態となったが、現在は歩行器を使用するまでに回復している。転倒した際、左上肢を床に着いたことで肩を痛め、左肩関節の可動域は外転90度程度で、腕を肩の高さより上にあげると痛みを伴う。
活動	立位：ふらつきあり。支えが必要。食事：自立。 移動：歩行器を使用。排泄：移乗に一部介助が必要。 一部介助が必要。利き手：右利き。 更衣：一部介助が必要。整容：自立。
個人因子	83歳、女性。几帳面できれい好き。穏やかで社交的な性格。昔はデパートに勤務し、洋服の販売員をしていた。今もおしゃれに関心が強く、普段から身だしなみに気を配っている。自分のことは自分でしたいという思いが強い。
環境因子	退院後、介護老人保健施設でリハビリを行い、歩行器を使用するまでに回復。1年前に現在の介護老人福祉施設に入所。夫とは5年前に死別し、自宅は現在空き家の状態。同じ市内に長男夫婦と長女夫婦が住んでおり、それぞれ月に2回程度面会に来る。
使用可能な物品 ※すべてを使用する必要はない。	ベッド（Q-AURA KQ-63310 3モーター91cm幅 キャスター付き） マットレス（ストレッチスリム KE-771TQ 91cm幅） 介助バー（スイングアーム介助バー KS-098A） ベッドサイドレール（KS-161Q） 歩行器（アルコールSK型） 床頭台（くし、手鏡、化粧ポーチが入っている。） 衣装棚（上着2枚、バスタオル2枚、フェイスタオル2枚が入っている。） 洗面台（実物に鏡は無いが、正面に鏡が付いているものとする。） シーツ／枕／タオルケット／洗濯かご／椅子

<当日課題>

昨日の誕生日に、長女夫婦とその娘（魚沼さんの孫）が面会に訪れました。その際、孫から上着をプレゼントされ、今日はその上着に着替えたいと要望しています。

また、昼寝をして脇や背中が少し汗ばんでいるので、着替えの際に、衣装棚にあるフェイスタオルで汗を軽く拭きとってください。